

水害に強い地域づくりについて

- 各圏域の事業等は、関係市町の主体性を尊重し、市町と県が協働で実施することを基本とします。
- 相互に連携を図り、取り組みを進めています。

協議会の構成

事務局

市町(会長)、国(河川事務所)
県(土木事務所、流域治水政策室)

圏域協議会 ... 副市町長、学識経験者、行政委員

担当者会議 ... 関係機関担当者

ワーキンググループ ... 関係者、関係機関担当者

(行政機関)
防災情報WG

避難勧告等
判断基準



(住民+行政)
水害に強い
地域づくり
住民WG

地域防災力の向上
安全な住まい方等



(住民+行政)
土砂害に強い
地域づくり
住民WG



圏域名	設置年月	関係市町
琵琶湖湖南	平成16年08月～	大津市・草津市・守山市 ・栗東市・野洲市
湖北圏域	平成19年06月～	長浜市・米原市
東近江圏域	平成20年11月～	近江八幡市・東近江市 ・日野町・竜王町
甲賀圏域	平成23年3月～	甲賀市・湖南市
高島地域	平成25年8月～	高島市
湖東圏域	平成27年2月～	彦根市・愛荘町・豊郷町 ・甲良町・多賀町

圏域協議会の全体計画

- 水害・土砂に強い地域づくりの目標設定
- 河川・流域の特性
地先の安全度評価、災害履歴、
土砂リスク整理など
- 現状・課題を整理
- 「ながす」、「ためる」、「とどめる」、
「そなえる」の4つの対策

担当者会議・防災情報WG

- 「そなえる」対策
(市町の地域防災計画等、対象地域全般)
HM作成、避難勧告基準設定、地区別
避難判断水位設定、避難計画検討など
の支援

住民WG

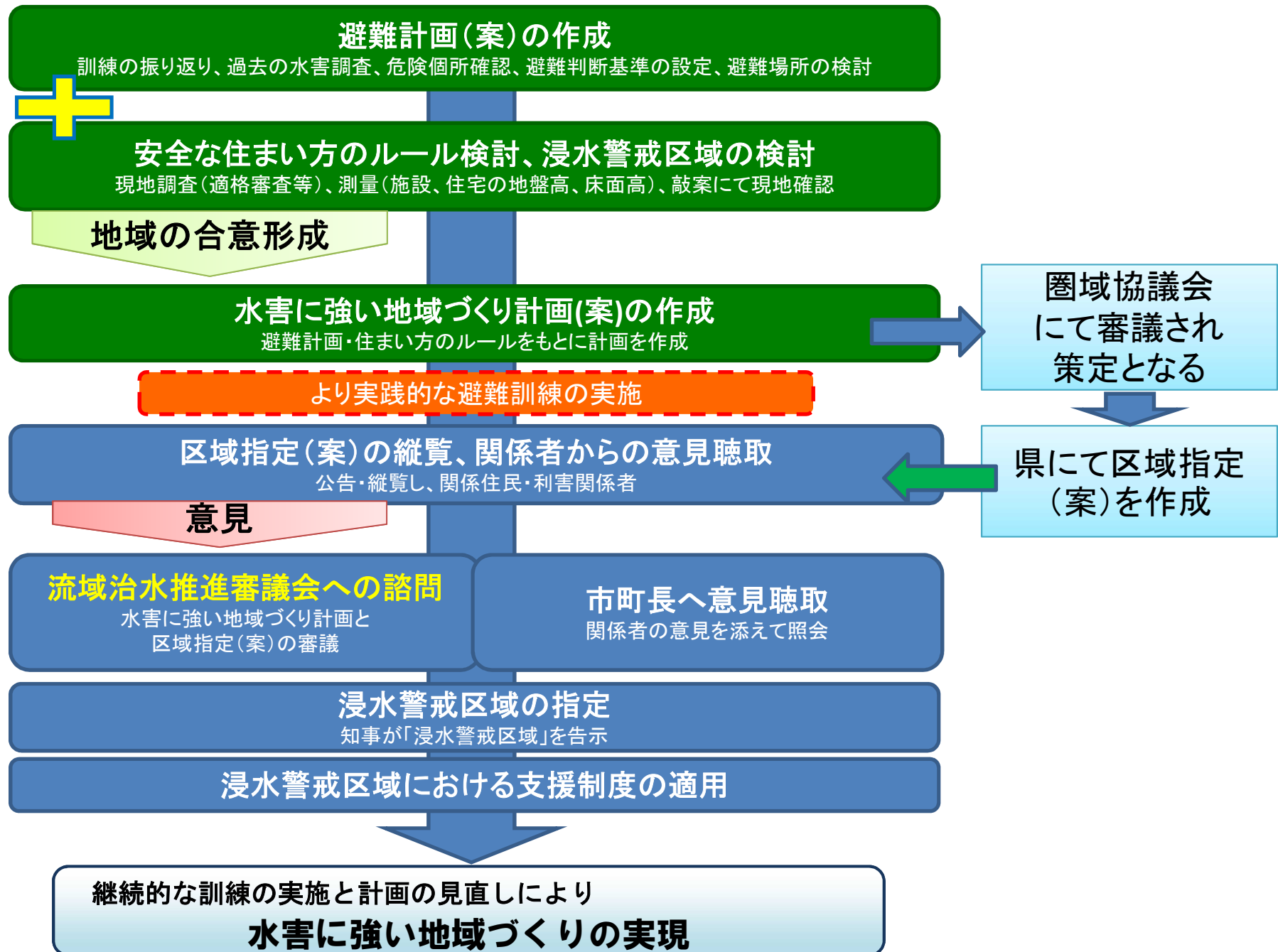
- 「そなえる」対策(地区避難計画)
自治会が作る具体的な避難計画を記載
「とどめる」対策(地区住まい方のルール)
はん濫が生じた場合でも命を守る対策

50地区（重点地区）の取り組み計画

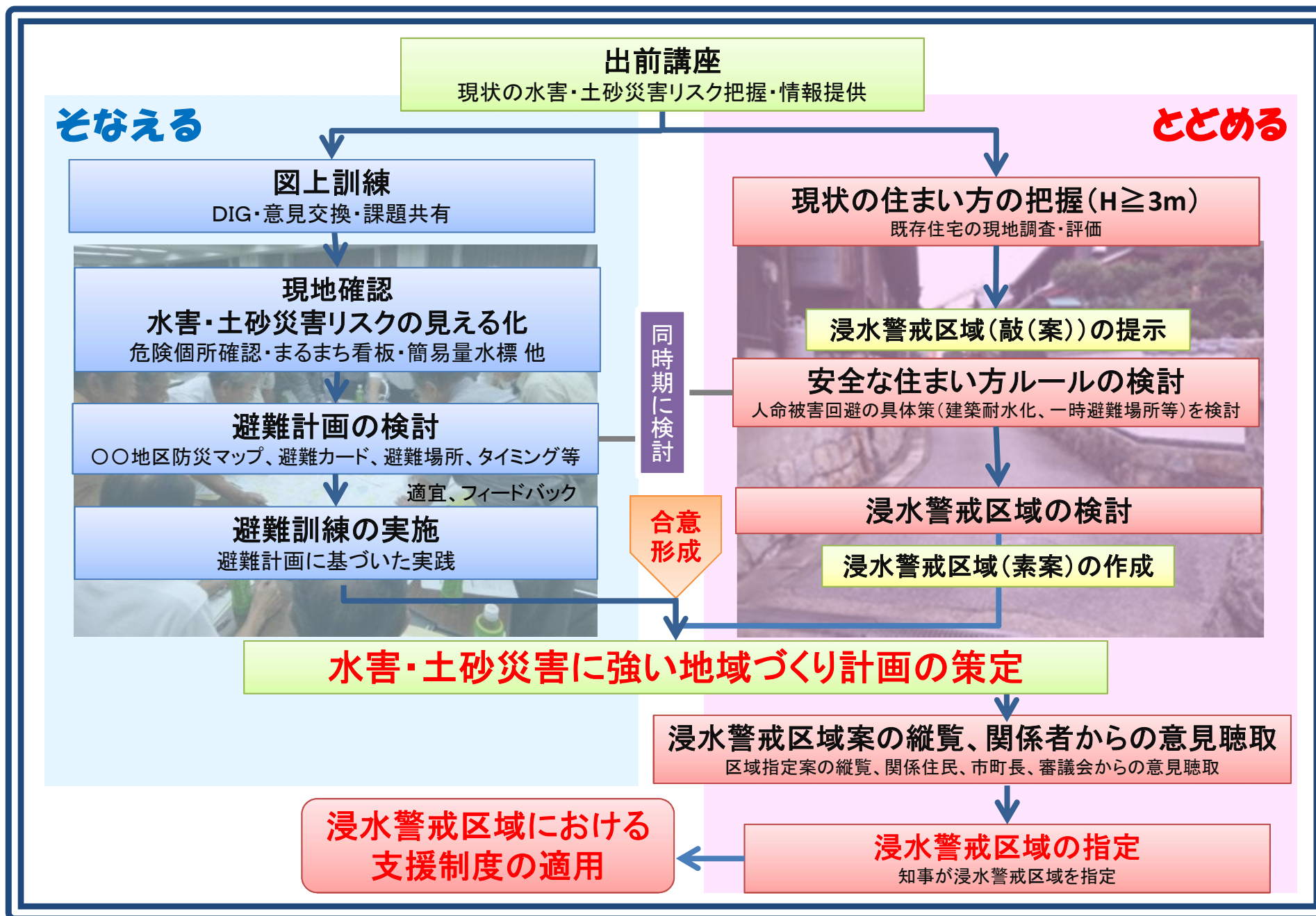
「どのような洪水にあっても命を守る」ことを最優先に考え、当面、平屋では洪水時に逃げ場所が確保できないような浸水リスクが特に高い地区で優先的に「水害に強い地域づくり」を進めて行くこととし、毎年度、10地区で取り組みを開始していくことを目標としました。

水害協 圏域	市町	地区 概数	H26	H27 (累計)	H28以降
琵琶湖湖南	大津市	6		27 ・ 3 ・ 30 浸水警戒区域に関する 条文施行	2 水害協にて取組調整中
甲賀	甲賀市	8	1(モデル) 黄瀬		3 水害協にて取組調整中 ・三本柳地区にて取組
東近江	近江八幡市	2			水害協にて取組調整中
	東近江市	2			1 //
	竜王町	2			//
湖北	米原市	2	1(モデル) 村居田		2 水害協にて取組調整中
	長浜市	25			2 水害協にて取組調整中
高島	高島市	3			1 ・朽木野尻地区にて取組
		<u>50</u>	2		<u>11</u>

「水害に強い地域づくり計画」作成、「浸水警戒区域」指定の流れ 3



水害・土砂災害に強い地域づくり計画策定の流れ



出前講座、図上訓練、水害経験の聞き取り



【出前講座実施時写真】



【水害図上訓練実施写真】



【聞き取り調査状況写真】

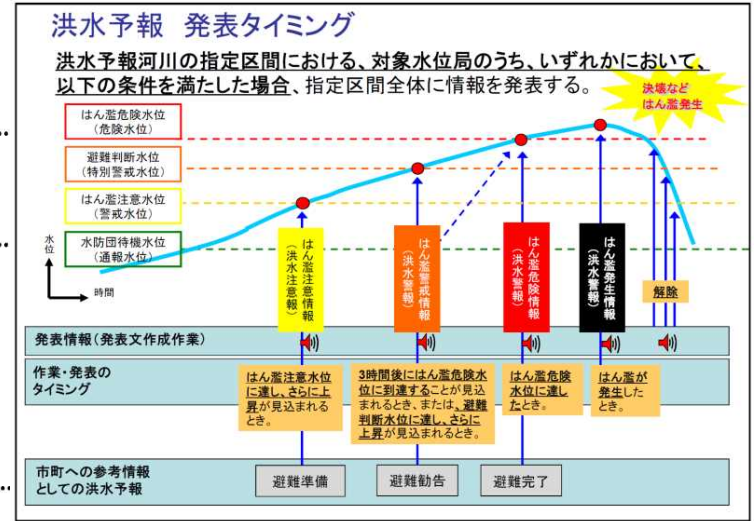
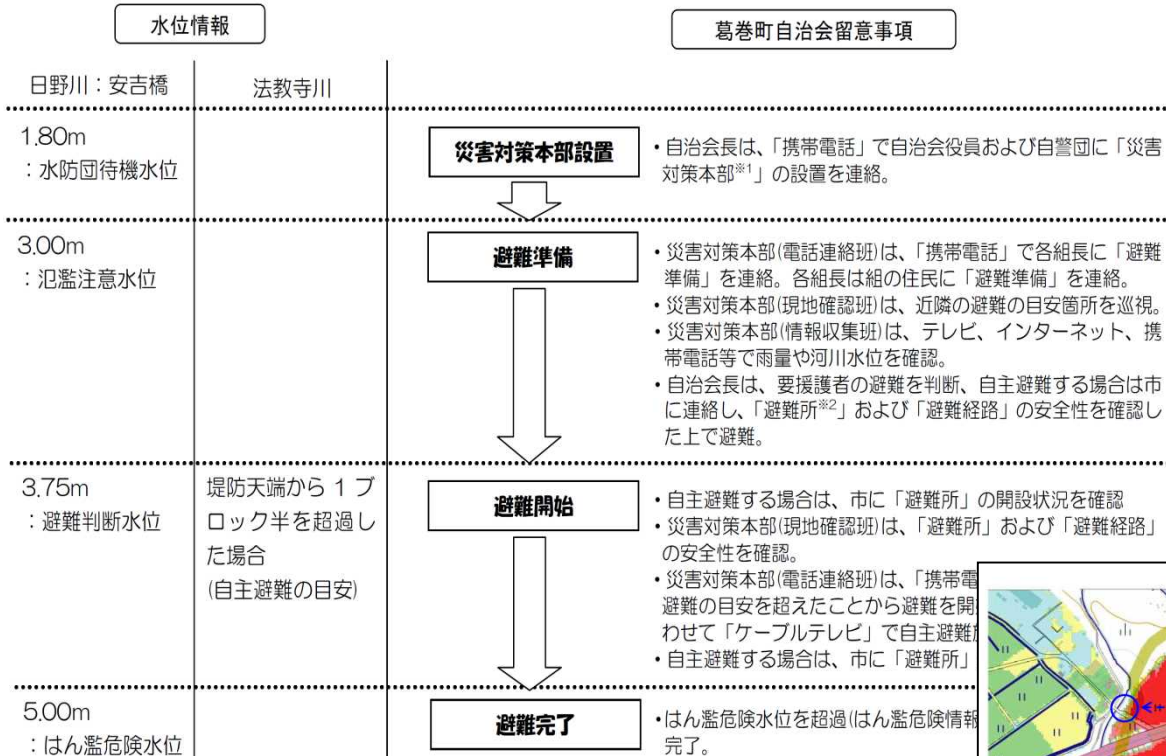
■ 聞き取り調査から得られた水害に対する知恵・文化



そなえる対策

避難計画の検討

自主避難計画書 概要



※1 避難所：蒲生北小学校 ※2 災害対策本部



まるごとまちごとハザードマップ

設置された看板



平成24年10月の避難訓練



看板デザインの投票



避難カードの作成

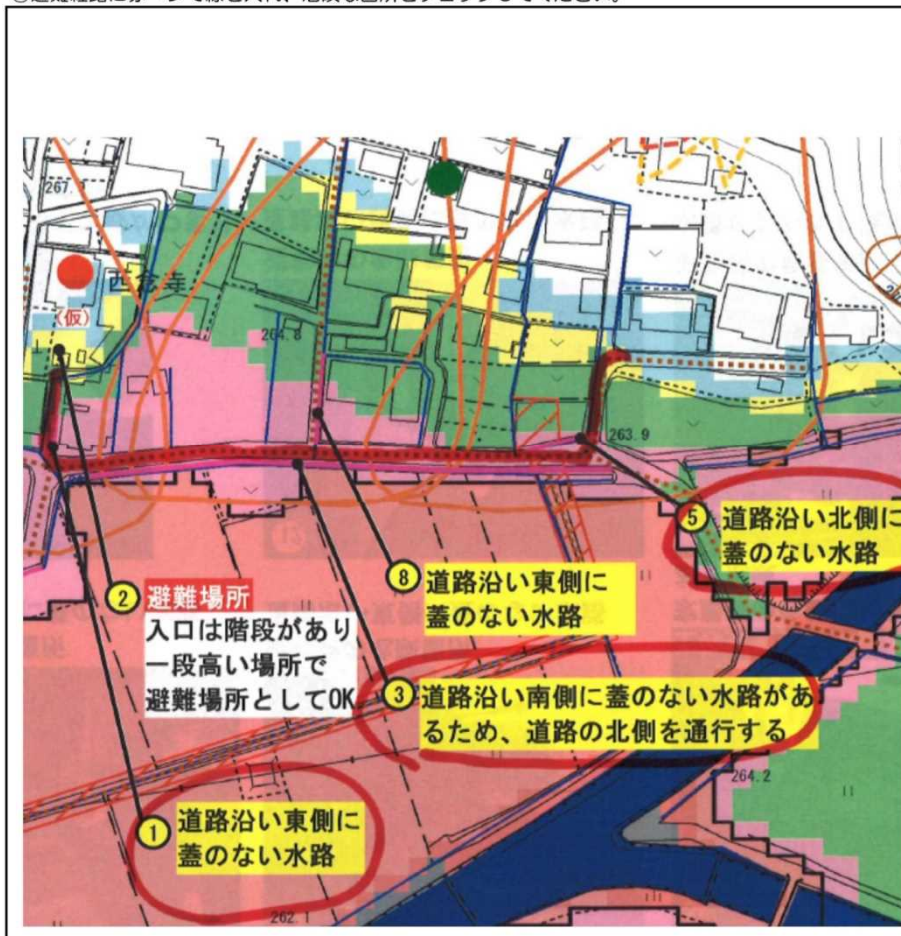
■避難カード(雛形)

みなさんのお家で、避難カードに記入する以下の項目について話し合ってください。

- ① **いつ避難**を始めるか(浸水、土砂災害別に)
- ② **どこに避難**するか(一時避難、二次避難)
- ③ **どこを**通って避難するか。**危険箇所**があるか。
- ④ **何を**使って避難するか。(徒歩、自動車等)
- ⑤ 避難の際に、**地域の人に手伝って欲しいこと**。

- ①自宅周辺の防災マップをコピーして、ここに貼り付けてください。
- ②避難経路に赤ペンで線を入れ、危険な箇所をチェックしてください。

黄瀬地区		我が家の避難カード (2015版)			
世帯(主)名	〇〇家	住所	甲賀市信楽町黄瀬〇〇〇〇〇		
想定する災害の種類	大雨による浸水や土砂災害				
我が家のリスク	浸水リスク	最大〇~〇m	土砂災害リスク	ありなし	北側の斜面の土砂崩れ
避難をはじめるタイミング					
避難場所と避難方法	周辺の状況		避難場所	避難方法	
	大雨が降る前				
	既に大雨が降っている時				
連絡先	①	②	③	④	
年齢	〇〇太郎	〇〇花子	〇〇敬之助		
電話番号	49	45	80		
メールアドレス	****-****-****	****-****-****			
持病	****@****.jp	****@****.jp			
常備薬			狭心症		
支援の要・不要			〇〇薬		
支援方法	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	
備考(普段の居場所など)	要	要	要	要	
	勤務先		家族で担架で運ぶ		
	⑤	⑥	〇〇サービスを利用	⑦ ⑧	



- ★ **避難の際は裏面の防災マップを確認すること!**
- ★ 自宅の冷蔵庫など、普段から目に付きやすい所に貼り付けてください。また、いつでもこのカードが見るように、縮小コピーしてカバンや手帳に携行したり、スマホで画像化して持ち歩いてください。

■防災マップ素案の確認

マップを見て、ご自身や同じ地区の方のお宅の「浸水リスク」や「土砂災害リスク」を確認してください。



シナリオ1:
【台風などで今後大雨が降ることが予想されている場合】(40分)

シナリオ2:
【ゲリラ豪雨などですでに大雨が降っている場合】(30分)

- 1.避難開始のタイミングはどのようなものが考えられますか。(世帯ごとに)
- 2.避難場所はどこですか。
- 3.どの道を通して避難しますか。危険箇所はありますか。(避難経路)
- 4.何を使って避難しますか。(避難手段(徒歩、自動車等))
- 5.避難の際、地域の人に手伝ってほしいことはありますか。(要支援者の対応等)

洪水避難訓練



自警団によるパトロール



CATVおよび携帯電話による自主避難の伝達



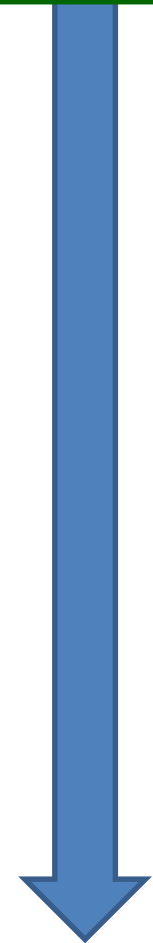
一時避難場所本部の設置



台風18号の状況報告

安全な住まい方のルールを検討

必要に応じて現地調査、測量



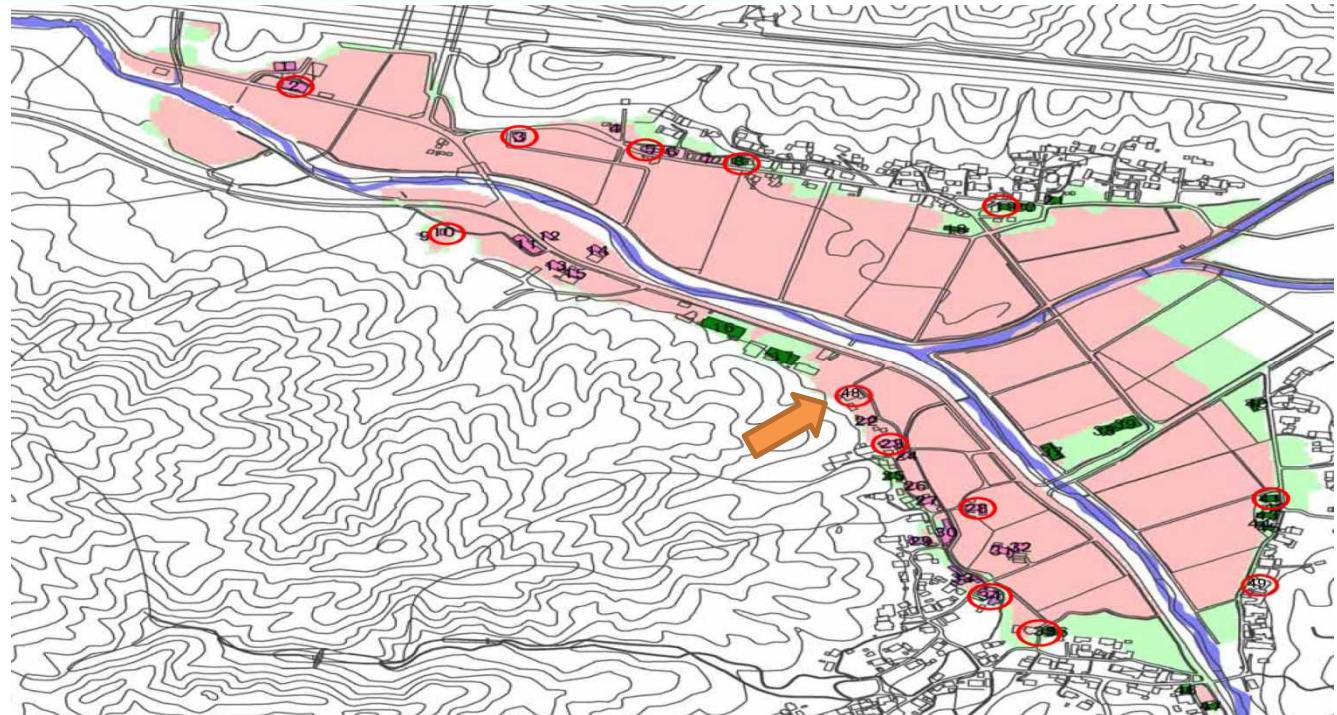
とどめる対策

住まい方のルールの検討 (現地測量調査 方法)



既存住宅等の現地調査

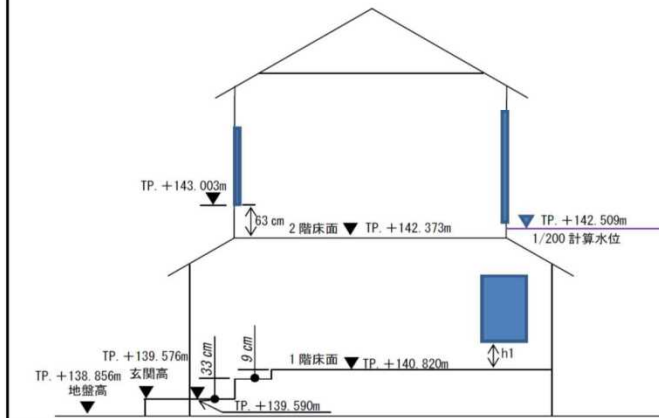
調査 No	家屋 No	床面標高(TP.m)			想定水位 (TP.m)	浸水状況 避難方法
		1階床面	2階床面	2階ベランダ		
1	41	264.661	267.671	267.706	266.308	床上浸水 屋内安全確保
2	49	264.808	267.723	—	266.315	床上浸水 屋内安全確保
3	35	265.127	268.210	—	266.367	床上浸水 屋内安全確保
4	34	264.944	268.254	—	266.339	床上浸水 屋内安全確保
5	28	—	—	—	266.313	(空き家)
6	23	263.205	266.369	—	266.263	床上浸水 屋内安全確保
7	48	262.076	265.626	—	266.240	2階浸水 水平避難
8	9	263.014	265.908	—	265.230	床上浸水 屋内安全確保
9	2	260.782	265.507	—	265.348	床上浸水 屋内安全確保
10	3	262.990	—	—	265.731	床上浸水 水平避難
11	5	262.991	266.615	266.615	265.870	床上浸水 屋内安全確保
12	8	263.962	267.166	—	265.950	床上浸水 屋内安全確保
13	19	264.981	268.057	268.005	266.189	床上浸水 屋内安全確保



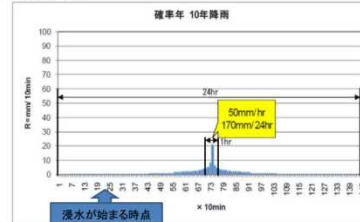
地区 家屋調査報告書

表 6 家屋調査用 (4/32)

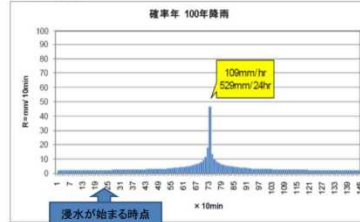
家屋番号	4	氏名		調査日時	H26.12.4 9:16
------	---	----	--	------	---------------



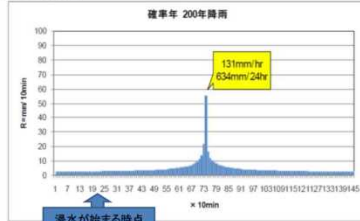
■10年確率モデル降雨



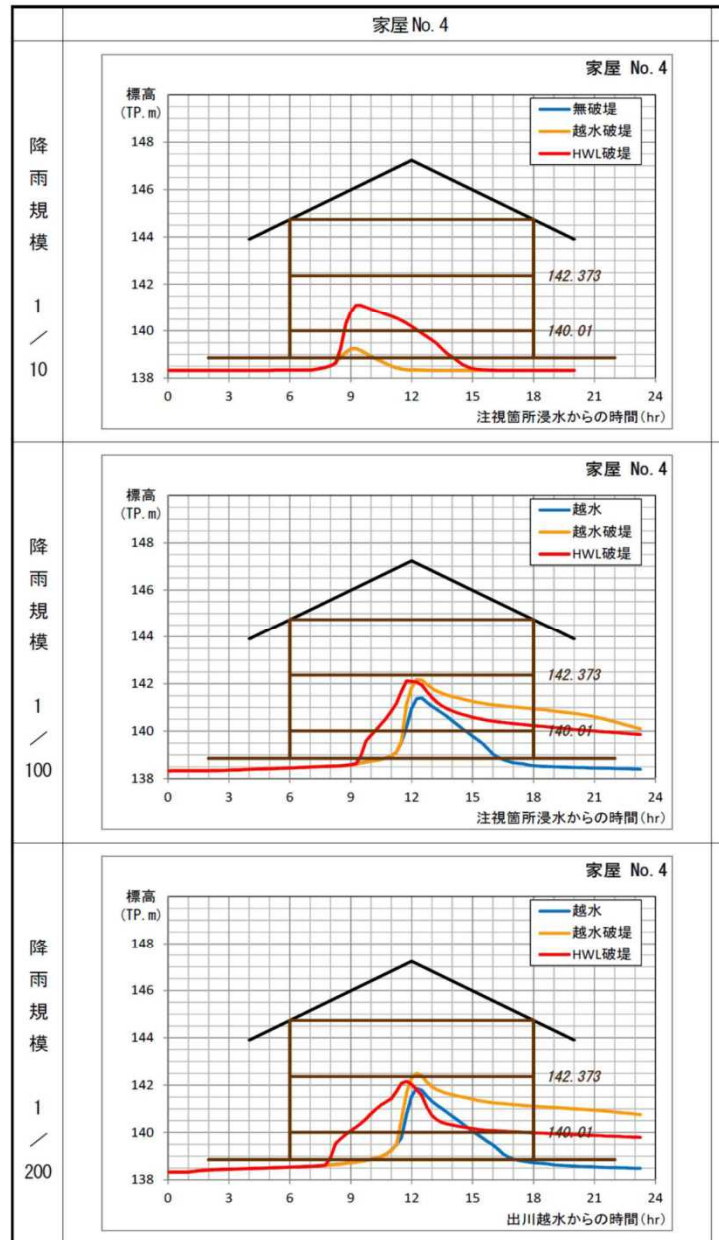
■100年確率モデル降雨



■200年確率モデル降雨



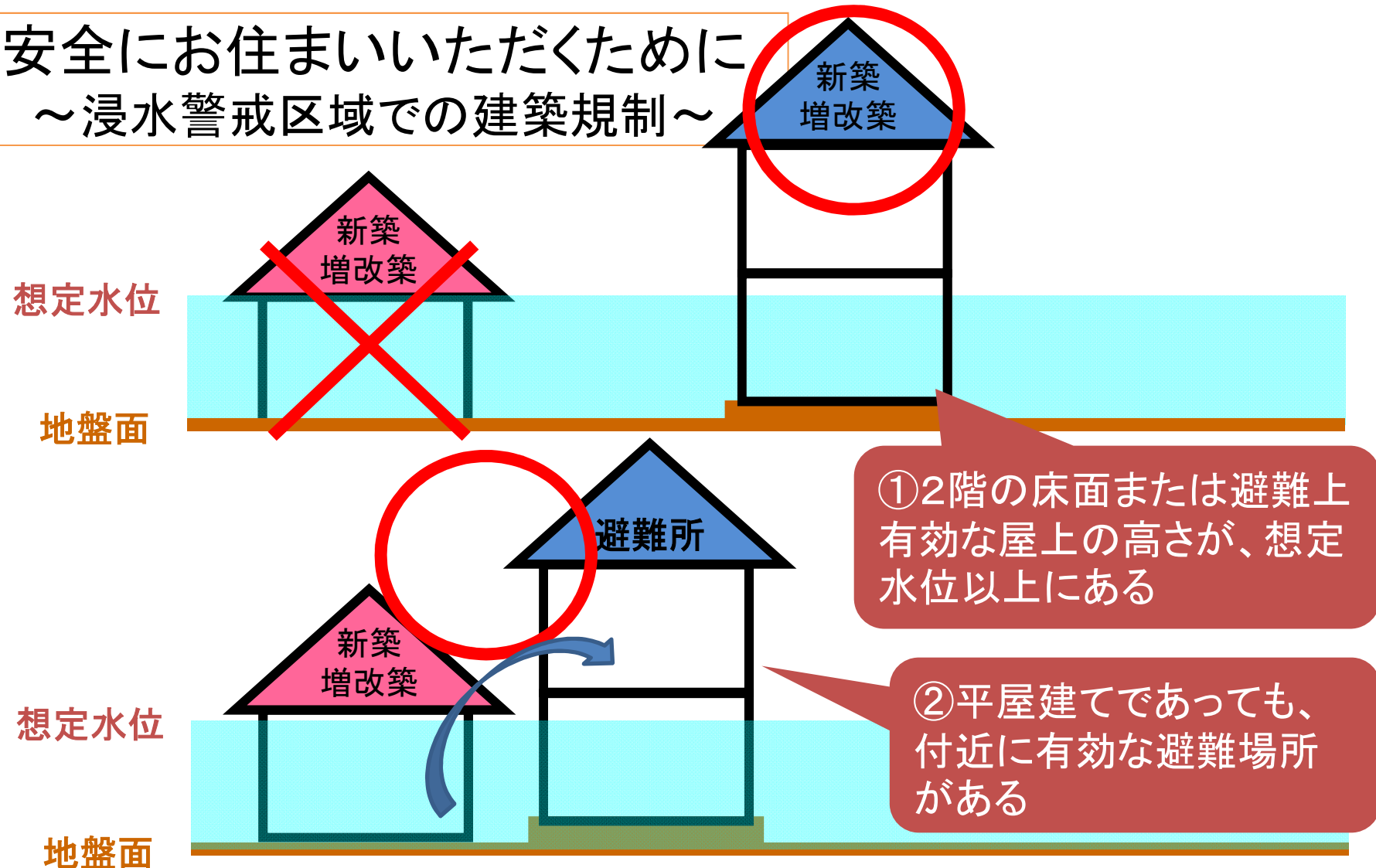
※ 降り始めより、約12時間をピークとした降雨パターンで算定



本報告書は、貴殿の家屋における測量調査の結果と当該地の周辺で一番最初に浸水が始まる地点(中央上の図にしました口のポイント)より、上記の降雨モデル(3種類)により、貴殿の家屋での浸水深や浸水するスピードを示したものです。
なお、浸水深や浸水するスピードは1つの事例であります。また、避難行動につきましては、地域と共に検討を進めてまいりますので、今後の検討結果は別途お知らせさせていただきます。

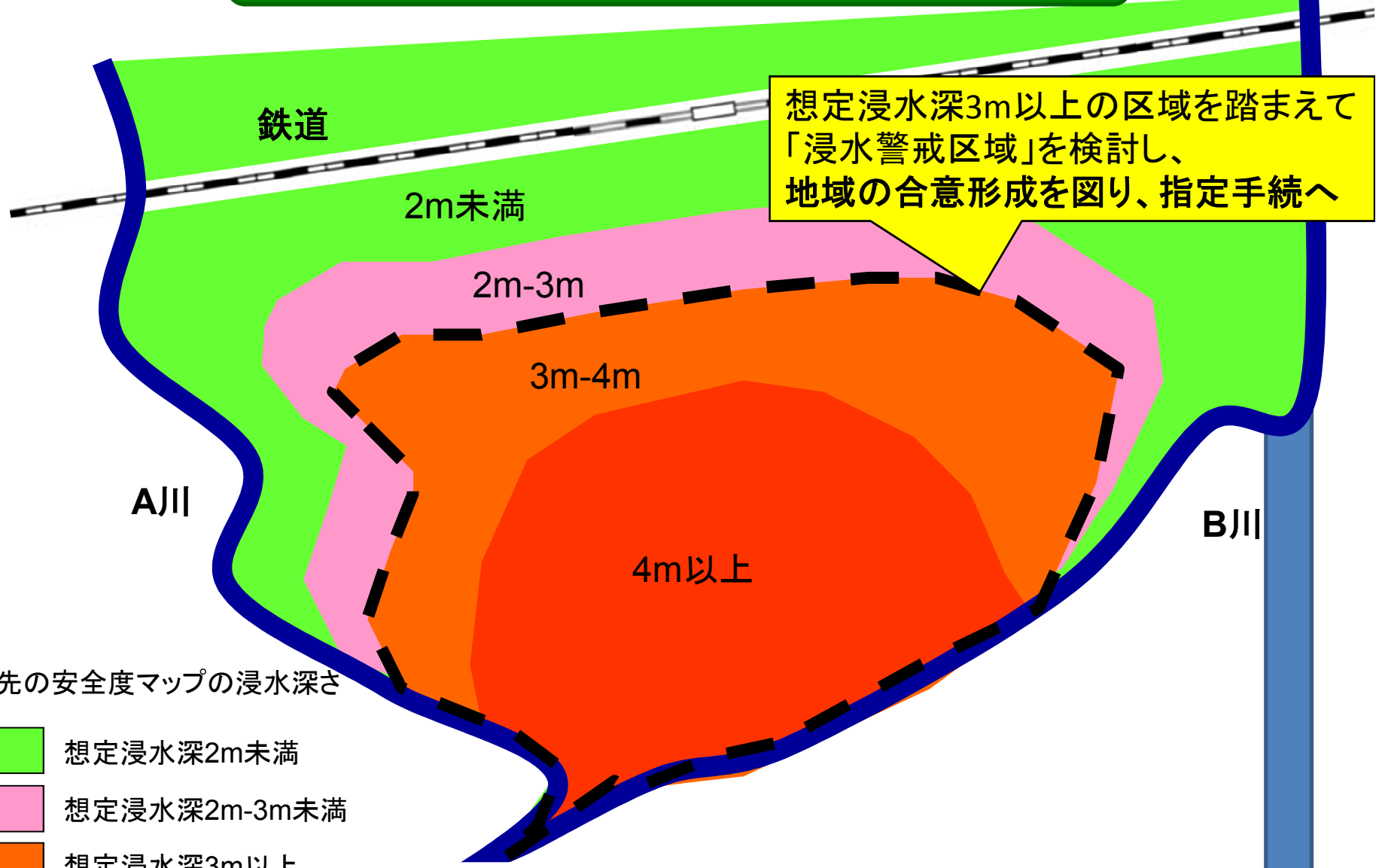
安全住まい方のルールへの誘導

安全にお住まいいただくために
～浸水警戒区域での建築規制～



浸水警戒区域では、新築・増改築時に上記の内容を確認

浸水警戒区域の検討



想定浸水深3m以上の区域を踏まえて「浸水警戒区域」を検討し、地域の合意形成を図り、指定手続へ

地先の安全度マップの浸水深さ

- 想定浸水深2m未満
- 想定浸水深2m-3m未満
- 想定浸水深3m以上

浸水警戒区域の設定イメージ